

日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

骨太の方針2023（2023年6月16日 閣議決定） 「社会保障制度（概要_病院版）」

作成：日医工株式会社（公社） 日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第6345号 寺坂裕美

参考資料：2023年6月16日 内閣府 『経済財政運営と改革の基本方針 2023』

資料No.20230726-2055(1)-1

本資料は、2023年7月12日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです
が、その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接
または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

- 2023年6月16日に「骨太の方針2023（経済財政運営と改革の基本方針2023）」が閣議決定されました
- 持続可能な社会保障制度の構築**に向けて、骨太の方針2023に記載された主な内容は次の通りです
 - 社会保障分野における経済・財政一体改革の強化・推進
 - 医療DX推進に向けた取組について必要な支援をしつつ、政府を挙げて確実に実現する
 - 健康寿命の延伸、高齢者の労働参加を拡大するために、エビデンスに基づく保健事業を推進する
 - 創薬力強化に向けてドラッグラグ等、解消に向けた薬事上の措置と承認審査体制の強化等を推進する
 - 急速な高齢化が見込まれる中で、介護保険料の利用者負担の検討を行い、2023年末までに結論を得る
 - 次期診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の同時改定においては、持続可能な社会保障制度に向けて効果的・効率的に対応する観点から検討を行う
- 2024年度同時改定については、これらの内容も踏まえた検討が実施されます

加速する新しい資本主義 ～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～

I. マクロ経済運営の基本的な考え方

II. 新しい資本主義の加速

III. 我が国を取り巻く環境変化への対応

IV. 中長期の経済財政運営

持続可能な社会保障制度の構築

- ・全世代型社会保障制度の実現、創薬力の強化、医療DXの確実な実現。
- ・次期診療報酬等の改定において、物価高騰・賃金上昇、経営の状況、支え手が減少する中での人材確保の必要性、患者・利用者・保険料負担への影響を踏まえ必要な対応を行う。

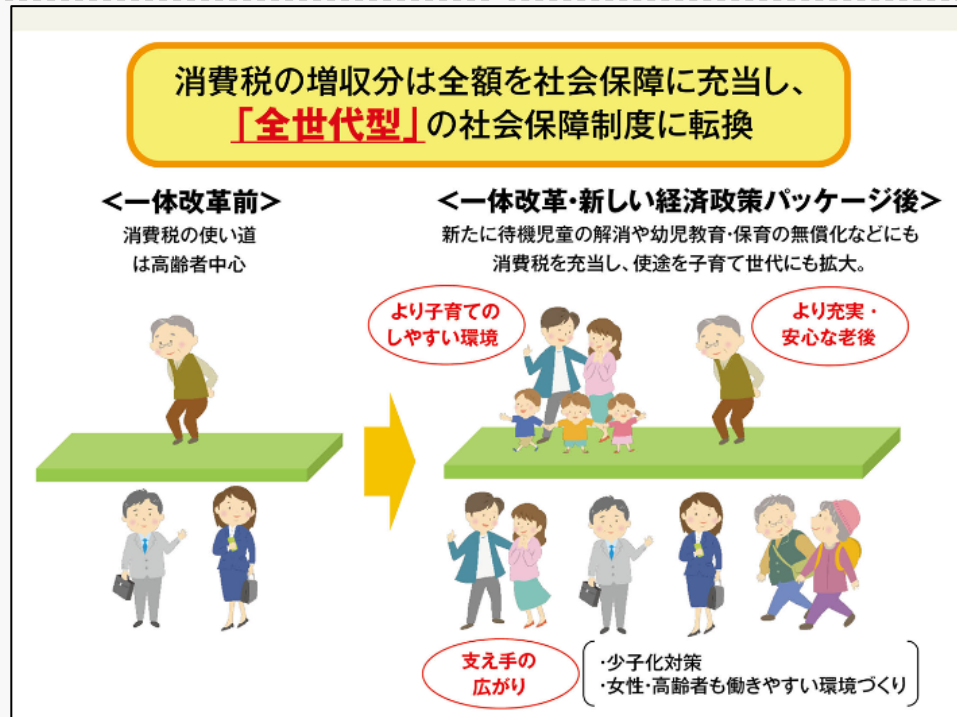
V. 当面の経済財政運営と令和6年度予算に向けた考え方

【目指すべき方向性】

- 少子化・人口減少の流れを変える
 - 分厚い中間層の形成
- ⇒ **持続可能な社会保障制度の構築**

【少子化対策・子供政策の抜本的強化】

- 現役世代の消費活性化による成長と分配の好循環の実現
 - 保険料負担の上昇の抑制
- ⇒ **医療・介護の不断の改革により
ワズスペンディング（賢い支出）の徹底**



(参考) 財務相サイト「これからの日本のために財政を考える14」より抜粋 (2023年7月14日閲覧)

全世代型社会保障の実現
全世代で能力に応じて負担し、支え合い、必要な社会保障サービスを必要な方に適切に提供される仕組み

- 医療の機能分化連携の更なる推進
- 医療介護人材の確保・育成、働き方改革
- 胃瘦・介護ニーズの変化やデジタル技術の著しい進展した改革

(★病院に特に関連する内容)

● 1人当たりの医療費地域格差の半減	● 都道府県のがバナンス強化
● かかりつけ医機能が発揮される制度整備の推進	★地域医療連携推進法人制度の有効活用
★地域で安全に分娩できる周産期医療の確保	★ドクターヘリの推進
★救急医療体制の確保	● 訪問看護の推進
★医療法人等の経営情報に関する全国的なデータベースの構築	★医師偏在対策
★医療専門職のタスク・シフト/シェア	● 薬局薬剤師の対人業務の充実
● 対物業務の効率化	● 地域における多職種との連携
● リフィル処方箋の推進	● 医師不足の地域への大学病院等からの人材派遣

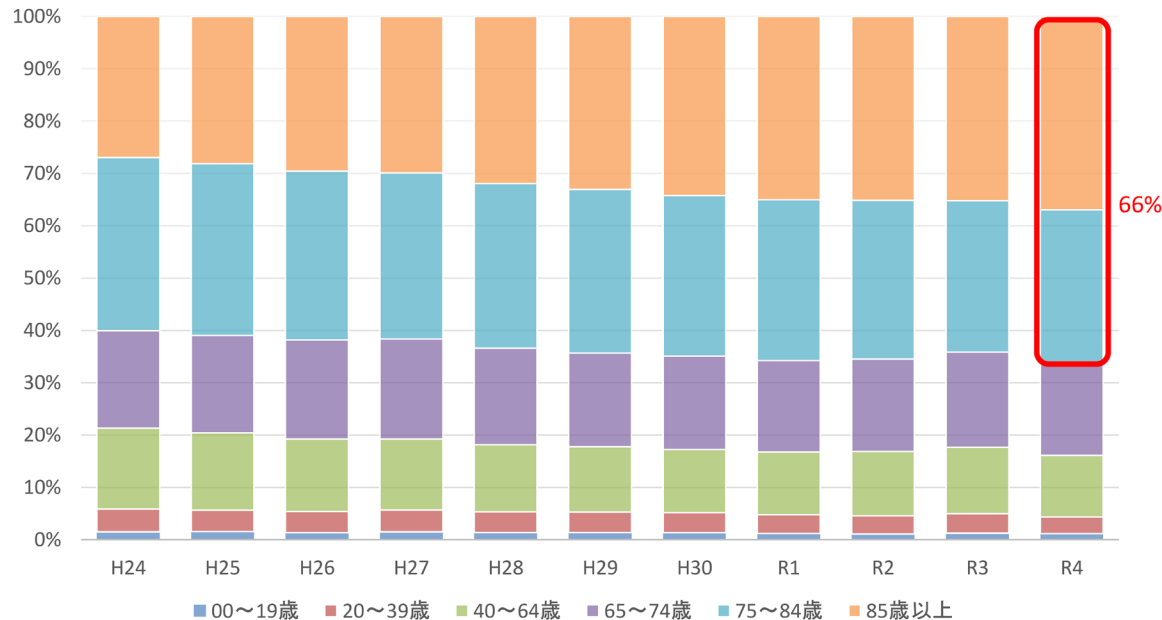
- 7月5日の中医協総会や7月6日の入院・外来医療等の調査・評価分科会では、高齢の救急搬送患の受け入れについて地域包括ケア病棟での受け入れを推進してはどうかと検討されています。

入院患者の年齢構成の推移①（急性期一般入院料）

意見交換 資料-5 参考-1
R 5 . 3 . 1 5 改

- 急性期一般入院料を算定する入院患者のうち、65歳以上が占める割合はほぼ横ばいだが、85歳以上が占める割合は年々増加している。
- 令和4年では、入院患者のうち66%を75歳以上が占める。

■ 急性期一般入院料の算定回数の年齢構成比 ※H24~H29は7対1または10対1一般病棟入院基本料



診療側意見（医師）

- ・一律に「高齢者は地域包括ケア病棟で対応」とすると現場は混乱する。比較的軽症な患者を3次救急から2次救急に搬送しなおす下り搬送や、一定程度回復した患者を後方病院に転院させるなどの出口問題の対策とセットで考えるべき
- ・患者の状態に合った病院・病棟への入院が重要であるが、地域包括ケア病棟の看護配置は13対1で、救急医療管理加算も算定できないため、対応可能な傷病に限界があることの考慮が必要

支払側意見

- ・急性期病棟はリハビリに関与するスタッフの配置などが手薄であるため、高齢患者は早期にリハビリが受けられる地域包括ケア病棟での入院治療が望ましい
- ・診療側委員からの指摘にもあった下り搬送や早期転院の視点も踏まえて検討すべき

出典：社会医療診療行為別統計（各年6月審査分）

（参考）令和5年7月5日中医協総会資料総-4「入院について（その1）」より抜粋

本資料は、2023年7月12日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

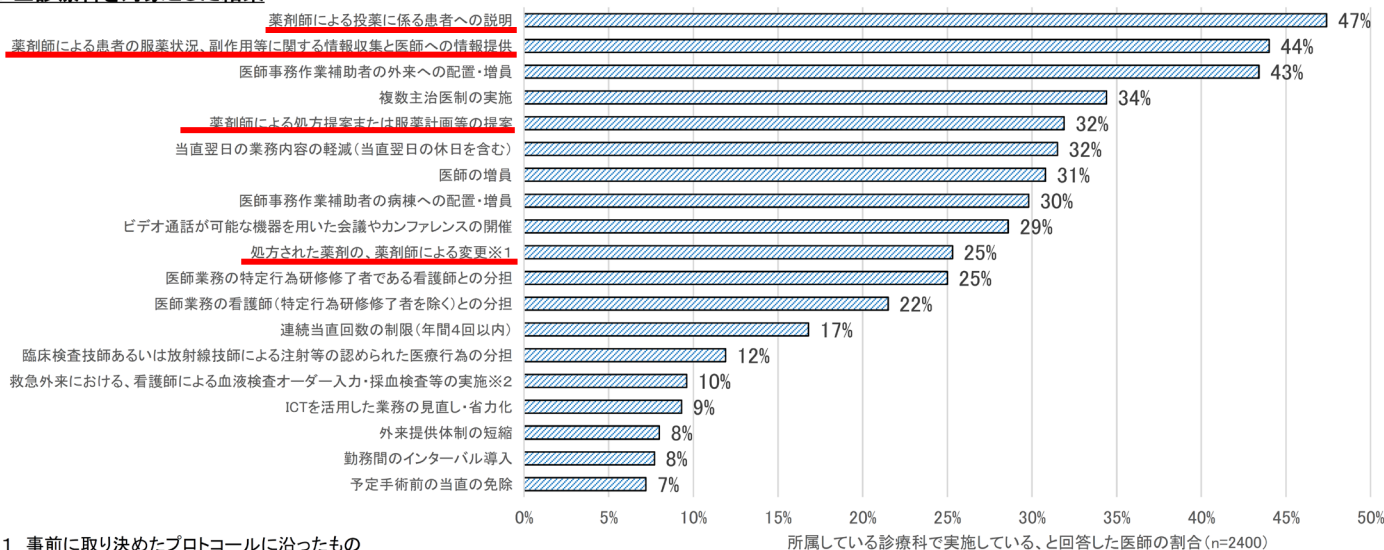
- 各病院で実施されている医師の負担軽減策として、薬剤師へのタスクシェア・タスクシフトの実施割合が高いことが示されており、病院薬剤業務実施加算の要件見直しなどが検討されています

医師の負担軽減策の実施状況

診調組 入-1
5 . 6 . 8

○ 所属している診療科で実施している負担軽減策についての回答では、薬剤師による投薬に係る患者への説明(47%)、医師事務作業補助者の外来への配置・増員(43%)といった取組が挙げられた。

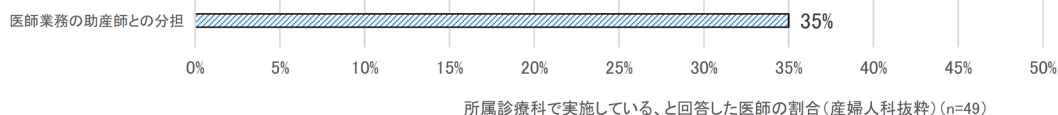
1. 全診療科を対象とした結果



※1 事前に取り決めたプロトコールに沿ったもの

※2 医師が予め患者の範囲を示し、事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づくもの

2. 産婦人科医に質問した、所属する診療科において「医師業務の助産師との分担」を取り組んでいると回答した医師の割合



診療側意見(薬剤師)

- 病棟薬剤師の配置は医師への負担軽減に大きく貢献しており、また、病棟薬剤業務実施加算が算定できない病棟においても一定程度、病棟薬剤業務が実施されている

専門委員

- 看護師としても、病棟における麻薬の管理などの薬剤関連業務を薬剤師に行っていただく事により負担軽減に繋がっている

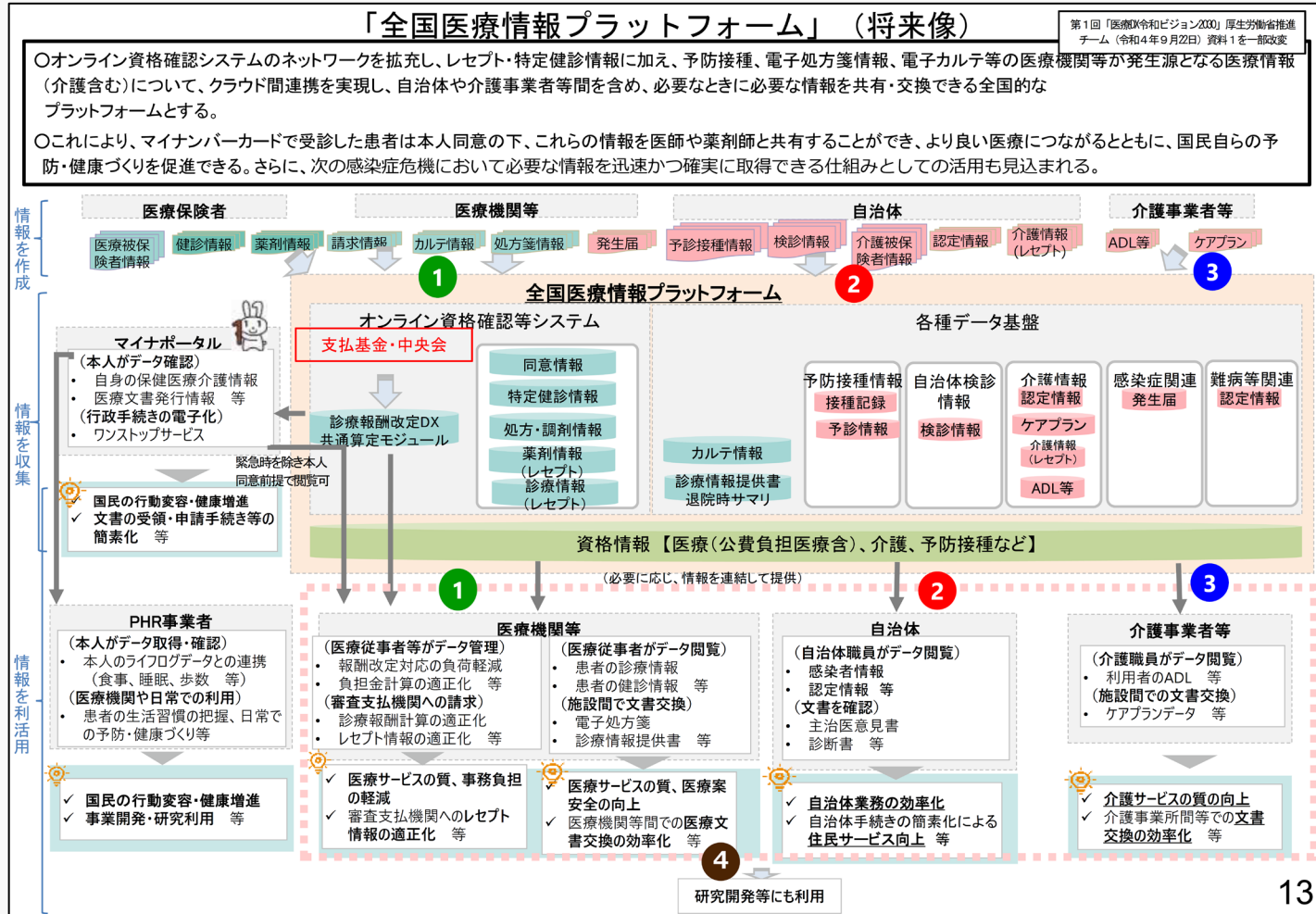
支払側意見

- 医師の負担軽減のために、病院薬剤師業務の評価を見直すことにより医師の負担軽減がより推進されると考えられる
- 2022年10月に新設された看護職員処遇改善評価料で看護職員以外の医療職種に薬剤師が含まれておらず、病院薬剤師の処遇改善の方法として、要件に薬剤師を含むことを検討しても良いのではないかと

出典:令和4年度入院・外来医療等における実態調査(医療従事者 医師票)

2023年7月11日には、厚生労働省が現行の（紙の）保険証廃止時期を2025年秋に延期する方針であることが報道されました

- 2024年秋に健康保険証の廃止に向けた取組
- レセプト・特定検診情報に加え『全国医療情報プラットフォーム』の創設・情報の共有を行う



(参考) 2023年4月26日中医学協総会資料「医療DXについて(その1)」より抜粋

本資料は、2023年7月12日迄の情報に基づき、日医工(株)が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

● 高齢者の労働参加の拡大

- ・健康づくり・予防・重症化予防の強化
- ・デジタル技術を活用したヘルスケアイノベーションの推進
- ・デジタルヘルスを含めた医療分野のスタートアップへの伴走支援

● エビデンスに基づく保健事業の推進

- ・リハビリテーション、栄養管理及び口腔管理の連携・推進

日医工サイトでは、摂食嚥下障害に関する特設ページもございます

● 全身の健康と口腔の健康に関する科学的根拠の集積と・活用

生涯を通じた歯科健診（国民皆歯科健診）	オーラルフレイル対策	疾病の重症化予防
歯科医療機関・医科歯科医療機関間の連携	歯科衛生士・歯科技工士等の人材確保	歯科領域のICT活用

● 『がん推進基本計画』に基づき、以下の対策を推進する

早期発見	早期治療	がん遺伝子パネル検査の実施	小児がん等に係る治療薬へのアクセス改善
------	------	---------------	---------------------

● その他の対策（以下参照）を着実に推進する

難聴対策	難病対策	移植医療対策	慢性腎臓病対策
アレルギー疾患対策	メンタルヘルス対策	栄養対策	

- イノベーションを推進するため、長期収載品等の自己負担の在り方を見直す
- 大麻由来医薬品の利用等に向けた必要な環境整備
- セルフメディケーションの推進
- バイオシミラーの使用促進

- ・ 医療上の必要性を踏まえた後発医薬品をはじめとした医薬品の安定供給
- ・ 後発医薬品の産業構造の見直し
- ・ 承認審査状況の強化

次期診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の同時改定について

- 地域包括ケアシステムの更なる推進のための医療・介護・障害サービスの連携等の課題と医療・介護分野の課題について効果的・効率的に対応する検討を行う

人材確保の必要性、患者・利用者負担・保険料負担への影響を踏まえ、必要なサービスが受けられるような対策



薬剤師の皆様に見て頂きたい

Oncology関連コンテンツのご紹介

会員登録
不要

「薬剤師のためのBasic Evidence」と「診療現場最前線」
2つのコンテンツをセットで閲覧することで
オンコロジー分野の基礎と実践を総合的に学ぶことができます。

薬剤師のためのBasic Evidence

各種ガイドラインの薬物療法を中心とし、薬剤師に役立つ内容を分かりやすくまとめています。
これからオンコロジーを学ぼうとお考えの薬剤師や、基礎的な知識を改めて整理したいという薬剤師にぴったりのコンテンツです。

診療現場最前線

さまざまな職種の先生方の取り組みを紹介しているため、処方意図から患者指導まで幅広く実践的な内容を知ることができます。
薬薬連携実践のヒントも得ることができ、連携にお悩みの薬剤師の参考になるコンテンツです。

■ アクセス方法



<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/oncology-contents/>



202300001296

<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/oncology-contents/>



日医工がお届けする **Stu-GE** は、

医療従事者の方のための医療行政情報サイトです。

ご覧頂ける
テーマ別
情報一覧

- 診療報酬改定関連の速報情報
- 診療報酬点数の施設基準や算定要件の情報
- 調剤報酬全点数情報
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の施設基準
- DPC/PDPS関連 新規薬価収載に係る包括評価対象外薬剤一覧
DPC公開データを用いた各種医療圏分析
- その他医療制度に関する情報

会員登録は、**無料**

いますぐ、会員登録サイトで登録を!!

会員特典1 メールマガジンの受信

会員特典2 会員限定コンテンツの閲覧

スマートフォンで簡単登録

パソコン画面で入力



<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/registrations/index>